

北地域後援会は我孫子1~4・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア

ミツマタ



しらかば北

発行責任者
井上文夫

市民の皆さまと要求実現の 運動にとりくみます

日本共産党我孫子市委員会 委員長 野村 貞夫

「しらかば北」読者の皆さま、日ごろ日本共産党へのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

今回の衆議院選挙は、高市首相のクーデター解散により、自民党の虚構の大勝利となりました。

長く続く物価の高騰から国民生活は疲弊し暮らしは限界を超え政治への不満の中で行われました。

高市首相の内容はともあれ、美辞麗句を並べ立てる演説から「何かやってくれそう」「今までとは違うのでは」「女性だから」との漠然とした期待感から、自民党の支持が30数%でも3分の2を超える議席を占めることになったのが今回の結果となりました。

多くの皆さんから消費税の削減をはじめ様々な要求があり、国民の強い監視が必要となっています。従って、この多くの期待に応えられなければ、高市内閣の支持率は急降下するでしょう。

特別国会が始まり、26年度予算案が審議されていますが、過去最大となる軍事費は9兆円が計上され、社会保障等を圧迫し、税負担が増加されます。

我孫子市の予算においても、必要経費が減少されています。また、国が創設した「子ども子

育て支援金制度」についても、当初は国民に負担は生じさせないと言っていました。1人年間1300円を国保税に算入され、4年連続の引き上げとなります。

市政においては、昨年の上下水道料40%に近い値上げは、4月から実施されます。駐輪場の値上げも、この4月からとなります。さらに、市民の努力で実現してきた市福祉バスが有料化(2回目から)になるなど、これまでの権利がくずされています。

何より市議会議員の定数を3名減らしたことは、市民の声を狭めることとなります。

また、議会傍聴者への文書配布をなくしたことなど、議会から市民を遠ざける議会制民主主義に反する行為を行ってきています。

市民の要求が従来になく多岐にわたってきている今、国への要求実現が厳しければ地方自治体が肩代わりすべきです。

来年1月には市長選挙があり、11月には市議会議員選挙となります。

この二つの選挙を一体として、市内にある市民団体と一緒に行き、運動を開始し、住みやすいよりよい我孫子市政をめざし取り組んでまいります。

多くの皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

小選挙区制は、民主政治と 議会制民主主義を壊す最悪の選挙制度

この度の総選挙で自民党は全

体の2/3議席を超える文字通りの圧勝でした。高市首相は自民党単独でも憲法改正を発議できる議席を手にしました。

いよいよ自民党および彼女自身の悲願だった9条に自衛隊を明記して、名実ともに「戦争する国」へと日本をもつて行こうとしています。

それは国民の本当の願いでしょうか。2月16日付・朝日新聞の世論調査では「高市首相に一番力を入れてほしい政策」の問いに、物価高対策51%、子育て・社会保障19%と続き、憲法改正は5番目のわずか5%でした。

今の国民の願いは圧倒的に「この苦しい生活をなんとかしてほしい」であり、憲法改正(改悪)ではないことは明らかです。

自民党が圧倒的な議席を占めたのは、小選挙区制度のおかげです。自民党は小選挙区の絶対得票率(有権者総数に占める得票数の割合)では26.9%に過ぎないのに、小選挙区の議席占有率は86.2%にのびりました。また小選挙区の相対的得票率(投票総数に占める得票数の割合)でも、自民党は約49%で、51%は「死に票」となって切り捨てられました。「交代可能な2大政党の実現を目指す」目的で、多くの国民の反対の声を押し切って1996年から始まった小選挙区制度です。この間に国民の少数意見を切り捨てられてきました。

小選挙区制は民主政治と議会制民主主義を壊す、最悪の選挙制度ではないでしょうか。民意が届く国会を実現するため、小選挙区制を廃止して、比例代表中心の選挙制度へ改革すべきだと思います。

小選挙区制 について考える

我孫子北地域後援会 会長 井上文夫

花火

先日、私が住んでいるマンションの管理組合の総会がありました。質疑の中で委任状と議決権行使書は総会の前に提出しているのに集計に時間がかかり過ぎるとの発言がありました。確かに、提出された委任状は総組合員数の7割以上を占め、出席者は1割程度です。総会前に委任状を全て賛成と見なし集計しておけば結果は明白です。▼チョット待ってください。株主総会などを含めこの手の会議体では、規約で「総会議長は理事長(社長等)とする」となっています。議長としてのは、執行機関の長と総会の運営の議長を区別しているからです。そこでは議案ごとに総会での審議を踏まえ、議長が適正と思う判断をくだすことが期待されています。▼確かに議決権行使書は事前にその数を把握できます。委任状は、議案ごとの審議を踏まえ執行機関の長であっても総会議長の立場でその都度執行しなければなりません。委任状は理事長への白紙委任状ではありません。事前に委任状イコール議案賛成票とみなすなら総会そのものが意味のないものとなってしまいます。▼身近なところにも民主主義を学ぶ場はあります。有効に活用しましょう。(香)

お知らせ 大島桜を 観る会

「つくしの丘」に咲く大島さくらの大樹を観ながら歓談いたします。

日時 3月29日(日) 2時~
場所 つくしの丘
参加費 500円

第28回あびこ市母親大会は、3月28日「生命(いのち)を生みだす母親は生命を育て生命を守ることを望みます」のスローガンのもと湖北台近隣センターに男性も含め約70名参加して行われました。

第28回 あびこ市 母親大会 に参加して

渡辺初子



プロダイバー、環境活動家、NPO法人気候危機対策ネットワーク代表の武本匡弘さんの講演を聞きました。海の中から地球が見えるという。40数年間、海と向き合ってきた海洋環境の劇的な変化はとどまることはないと言いつつ、海はプラスチックのゴミだらけ、サンゴが年ごとに死滅していく。魚もいなくなる。私たち人間は、科学の進歩により楽な生活を求め、地球上にパンデミックを起こしていることに気づかないでいる。海洋汚染により地球温暖化は

通り過ぎて、地球沸騰化の時代到来という。武本さんは地球の危機と平和の危機を、今こそ世代を超えて連帯して行動を起こせば気候危機から地球を救うことができる」と声高に訴える。人の集まる場所なら、どこにも伺い、みんなで学び、思索すること、そして声を上げ行動することで変わる。

市民活動は社会変革の源流になることを確信している。運動は長く楽しく、したたかにみんなで声を上げ続けましょうと呼びかける。

春一番が吹き荒れた日に南房総を旅した。館山と九十九里町に宿泊したが、どこも桜が満開だった。河津桜は南房総の至る所に植えられている。初めに訪れた鋸南町は、桜まつり開催中で二十数年前に植えた河津桜が町内中に咲いていた。

国道沿いのため池は、菜の花と桜が見事で、

春の南房総めぐり 渡辺 誠二

菜の花の香りに溢れ、多くの人が写真に夢中だった。鋸南町では一月水仙、時期は花が続く。その後、南端の白浜へ、白浜では最近道の駅のリニューアルがあり、国内でコーヒーを焙煎栽培する会社が直営店をオープンしていた。コーヒー豆を購入。2日目は千倉でみかん畑を見た後、勝浦へ行く。ひな祭りが開催中で、朝市通りを歩いて会場の遠見岬(とみさき)神社のひな壇を見学、天気も良く多くの観光客で賑わっていた。

その後大多喜町の道の駅で菜ばなの買い物をして九十九里の国民宿舎へ。翌日はあいにくの雨天で真っ先に帰宅した。

遠見岬神社のひな祭り



吉田千恵子さんの作品

富山 稔 世界のワイルドフラワー (12)



パエオニア・プロテロイ (Paonia broteroi)
3月 ポルトガル南部
ファロの北で撮影

日本ではボタンは木本で、シャクヤクは草本として便宜的に分けていますが、学名はすべてパエオニアです。ヨーロッパでは一番南西に位置するポルトガルでは、2月の末には早くも開花します。パエオニア・プロテロイです。ヨーロッパに春が一番早く来るのがポルトガルでしょう。地中海性気候のため温暖で、山もあり高くなく、低い山地の国土には、スイセンも多く、春は花がいっぱいの国です。何一つ悪い印象のない穏やかな国がポルトガルです。

富山稔さんの「世界のワイルドフラワー」シリーズは今回が最終回です。貴重な、素晴らしい写真をありがとうございました。(編集部)